令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果

京都市立上鳥羽小学校

４月２３日に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとまりました。本調査は、６年生を対象に、教科（国語・算数）に関する調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間と問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係をふまえて本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

どちらの教科も全国平均を上回る結果となりました。特に、国語の「読むこと」の領域、算数の「Ｄデータの活用」では高い正答率となりました。無解答率も全国と比べて低いことから、普段から対話で問題解決を図る学習を生かし、粘り強く課題に取り組む姿勢が育っています。

国語科より

今年度の本校の国語科の結果を見ると、全体として良好な成果が見られました。特に、「読むこと」の領域において、文章を読んで考えたことを自分の経験と結び付けながらまとめて書く問題の正答率が高く、日頃の授業で取り組んできた、文章と自分の考えや経験を関連付けながら表現する学習の成果が表れていると考えられます。また、文章の内容を捉え、自分の考えを形成し、言葉で表現する力についても一定の定着が見られました。

一方で、「情報と情報との関係付けの仕方を理解すること」や「図などを用いて語句と語句との関係を整理して表すこと」に関する問題では、全国的な傾向と同様に正答率が低くなりました。情報を比較したり分類したりしながら整理し、その関係を図や表などを用いて可視化する力には課題が見られます。

今後は、複数の情報を関連付けて考える学習を一層充実させていく必要があります。読書活動の充実を図り、さまざまな文章や情報に主体的に触れる機会を増やすことで、情報を整理・活用する力や、自分の考えを根拠をもって表現する力を育成していきます。さらに、各学年で系統的に情報活用能力と言語能力の育成を進め、これからの社会で求められる資質・能力の向上につなげていきます。

・複数の情報を結び付ける学習へ

・読書習慣の定着を！



算数科より

全体として良好な成果が見られました。特に、示された二つの表を読み取り、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数や言葉を用いて説明する問題では高い正答率を示しました。これは、日頃の授業において、資料を基に考察したり、自分の考えを筋道立てて説明したりする学習を積み重ねてきた成果であると考えられます。

一方で、体積の意味を理解する問題や、基準量・比較量・割合の関係を正しく表した図を選ぶ問題については、全国的な傾向と同様に正答率が低く、課題が見られました。数量の関係を図や式と関連付けて捉えたり、割合の意味を理解して活用したりする力については、さらなる定着が必要です。

今後は、数量や図形の意味を具体物や図、式などを用いて多面的に考える学習を充実させていく必要があります。特に、割合や体積などの概念については、実際の場面と結び付けながら理解を深める活動を積み重ねていきます。また、日常生活の中で算数を活用する経験を重ねながら、数量の関係を主体的に考える力の向上を図っていきます。さらに、図や表を活用して考えを整理し、説明する活動を充実させることで、数学的な思考力・判断力・表現力の育成につなげていきます。

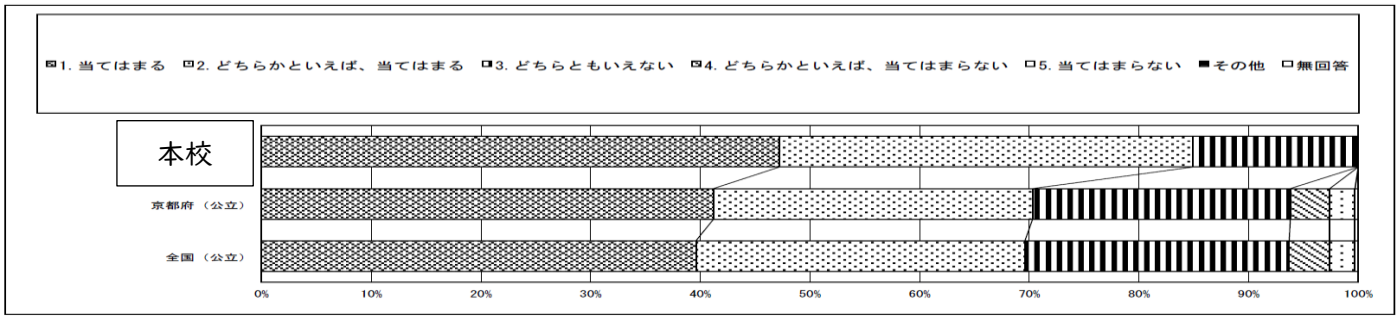
・日常生活との関連

「図形」「数量の関係」



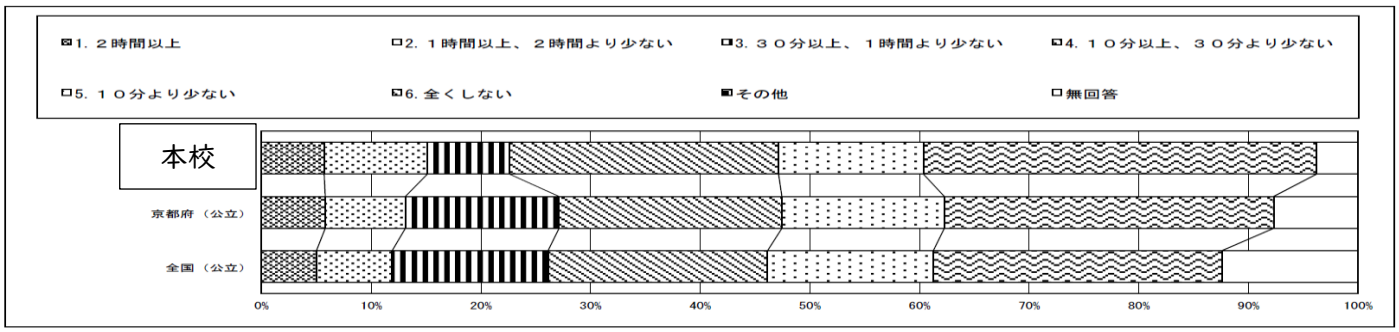
児童質問紙調査から

①あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



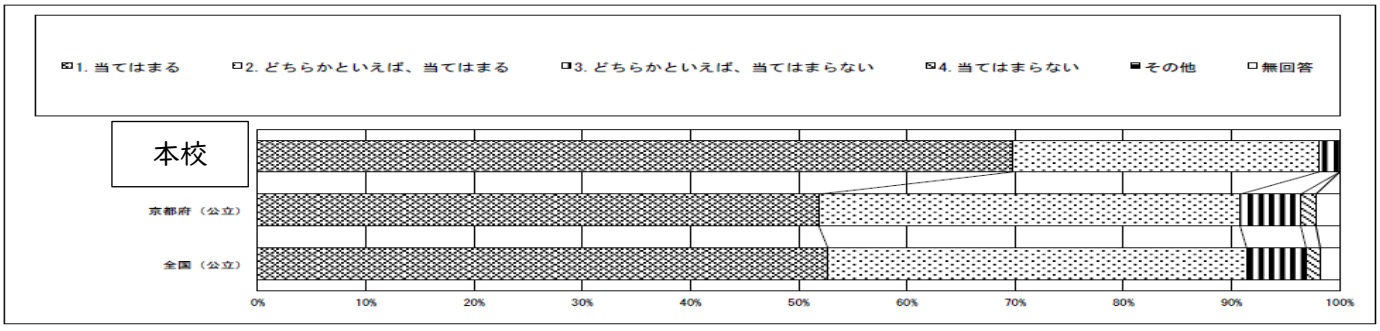
この設問では、肯定的な回答が全国平均を上回る結果となりました。安心して自分の考えを伝えられる学級づくりや、互いの意見を尊重しながら学び合う授業づくりの成果が表れていると考えられます。

②学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



この設問では、本校も全国と同様に読書時間に課題が見られました。約 72%の児童が１日の読書時間 30 分以下と回答しています。今後は、日常的に本に親しむ機会を充実させ、読書習慣の定着と読書活動の活性化を図っていく必要があると考えます。

③授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



この設問では、約 97%の子どもたちが肯定的に回答しました。友達と協力しながら学びを進める意識が高く、対話を通して課題解決に取り組む姿勢が育まれていることがうかがえます。

保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査は、学力や生活習慣の実態を把握し、子どもたちの可能性をさらに伸ばすために教育活動の改善に生かしていくものです。学力は教科の学習だけでなく、読書や体験活動、人との関わりの中で育まれます。本校では、学校目標の実現に向け、互いの考えを認め合いながら、ことばを手がかりに学びをつなげ深める教育活動を進めています。今後も、対話を大切にした授業づくりや読書活動の充実を図り、主体的に学び続ける子どもの育成に努めてまいります。引き続き、ご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。